

議会のひろは

ギ カ イ

2019年(令和元年) 12月25日発行

No. 17
2019 DEC.

特集

●決算認定

「平成30年度の市の活動成果をチェック」



●表紙 11月9日 岡谷市収穫祭

岡谷産の新鮮な農産物をはじめ、今年は姉妹都市の東伊豆町からの特産品の出店もありました。「甘いりんごだよ」「この早生みかん食べてみてよ」「スープおいしかった。」「綿アメとねえ、ポップコーンと、風船ももらったよ」。沢山の旬の恵みをどっさりと抱えて、みなさんご満悦。多くの家族連れ等で賑わった会場は、笑顔が溢れていました。(突ゲキ生レポートより)

●もくじ



巻頭トピックス 「議会キッズおかや」子ども議会 2

【特集】決算認定

「平成30年度の市の活動成果をチェック」..... 3

【令和元年第5回定例会】・決算特別委員会 3~6

【令和元年第4回臨時会】 6

第4回臨時会／第5回定例会

・議案審議・賛否・請願・陳情の結果 7

【第5回定例会】一般質問 8~15

・ズバリ市政を問う! 一般質問(ダイジェスト版)

議会の「フォト」広場 16

・飛び出せ議員! 「突ゲキ生レポート」

編集後記 16

特集 決算認定「平成30年度の市の活動成果をチェック」

会計名	歳入決算	歳出決算	差し引き	結果
一般会計	19,078,215,889	18,382,991,308	695,224,581	認定
国民健康保険事業特別会計	4,787,048,651	4,720,017,416	67,031,235	認定
地域開発事業特別会計	3,331,618	327,173,789	△323,842,171	認定
分収造林事業特別会計	11,272,244	9,936,688	1,335,556	認定
霊園事業特別会計	89,769,335	39,776,978	49,992,357	認定
温泉事業特別会計	50,744,935	36,646,661	14,098,274	認定
後期高齢者医療事業特別会計	802,470,950	780,547,850	21,923,100	認定
湊財産区一般会計	9,801,462	702,084	9,099,378	認定
水道事業会計(収益的収支)	948,439,764	712,121,338	236,318,426	認定
下水道事業会計	1,772,967,207	1,482,721,727	290,245,480	認定
病院事業会計	6,957,350,165	7,007,506,595	△50,156,430	認定

※企業会計収益的収支(消費税込)

令和元年10月15日(火)から令和元年11月11日(月)までの28日間の会期で開かれ、人事案件1件、一般議案が3件、議員提案が6件、決算議案が11件、計21議案等が審議されました。

なお、平成30年度一般会計・特別会計・企業会計の決算(11議案は決算特別委員会に付託され、審査を行い11月11日に開催された本会議において、委員長報告が行われました。委員長報告の内容は岡谷市議会ホームページに掲載)

各会計の決算関係について、決算特別委員会での主な議案の審査経過をお知らせします。

令和元年 第5回定例会(決算議会)



定例会本会議の様子(議場)

**決算特別委員会
一般会計・特別会計**

【委員長】 遠藤真弓
【副委員長】 山崎 仁
【委員】 藤森博文、吉田 浩、武井友則、小松 壮、大塚秀樹、笠原征三郎

問 市長の決算に対する総括的評価について

答 平成30年度は、第4次岡谷市総合計画の最終年度として、将来都市像である「みんなが元気に輝く、たくましいまち岡谷」の実現に向けて、これまでの成果を確実に結実させるとともに、次の10年間へつなぐための重要な年であったことから、「新たな時代を紡ぐ年」と位置付け、各種施策を積極的に展開した。

また、少子高齢化と人口減少による人口構造の変化により、市民サービスへの影響が想定されることから、行財政改革をはじめとした様々な取り組みによる、安定した財政基盤の構築が重要となっていた。

こうした状況において、「最小の経費で最大の効果」を挙げるべく、全職員一丸となつて取り組んだ結果、実質収支で6億5,862万1,581円の黒字とすることができた。

今後は、インフラを始めとした公共施設の老朽化対策が求められるなか、岡谷市においても全国的な状況と同様に、人口減少の影響により行財政運営の舵取りが難しくなることが予想されるが、今、このまちで生活している市民のみならず、これから生まれてくる子どもたちの、将来への責任を果たすべく、引き続き中長期的な財政



決算特別委員会 審査の様子(全員協議会室)

問 支所の利用者数について

答 湊、川岸、長地の3支所とも利用件数は年々減少しているが、数字に直接表れない部分として、市役所まで出向かなくても職員と顔を合わせて直接相談ができるほか、各種行政サービスをワンストップで受けられるなど、有効かつ便利にご利用いただいている。

しかし、コンビニ交付や駅前出張所でのサービス提供のほか、施設の老朽化といった課題もかかえており、岡谷市公共施設等総合管理計画では、「市民サービスにおける支所が果たす役割、機能等を念頭に置きつつ狭い地域での必要性や位置づけ、機能移転、代替方策の可能性など様々な視点からあり方を検討する」としている。

岡谷市一般会計歳入歳出決算認定

「議会キッズおかや」子ども議会レポート

8月6日(火)、市内在住の小学3～6年生の児童を対象に、市教育委員会(長地公民館)と共催で「議会キッズおかや」子ども議会を開催しました。「この夏休みは、政治家のおしごと体験をしよう!」をテーマに、参加児童14名は、議場にて岡谷の将来の夢について元気よく発表し、議員に質問をして答弁してもらうなど、議員の仕事を疑似体験しました。

議事進行は渡辺太郎市議会議長が行い、質問については子ども議員から事前通告が出されるなど、実際の本会議さながらとなりました。市議会への理解を深めてもらう良い機会となり、市民とともに歩む開かれた議会への大きな一歩となりました。



開会前に、7階の議長室を訪問しました。記念の「子ども議員バッジ」(下)が全員に配られ、みんなで大はしゃぎ。



●はじめに、議会事務局職員が講師となり、8階の全員協議会室でオリエンテーションを行い、議会の学習や施設見学をしました。初めて聞く言葉に、...?。

問: 議員さんの夢は何ですか?
答: 皆さんの夢を応援して実現させること。

問: 政治家をやってよかったなと思うときはどうときですか?
答: 選挙で応援してくれる皆様との約束が達成できたとき。

問: 議員をされていてどういふときが一番大変ですか?
答: 選挙に出て市民の皆さんに選んでいただくことが大変。一般質問や予算などを審議するには、しっかり勉強をしなければなりません。

子ども議会開会 (※質問・答弁を抜粋)



問: どうして議員になろうと思ったんですか?
答: 地域活動をする中で、市役所と力を合わせることで、同じ思いの人を探ることができたり、エリアをもっと拡大することができたりするということを実感したから。

問: 女性議員が少ないのはどうしてですか?
答: 政治家を仕事として選ぶためには、多くの女性には家庭での役割がたくさんある中で、家族の同意や、選挙に出るお金も必要となることなどが考えられるのでは。

問: 岡谷市のいいところは何だと思っていますか?
答: 恵まれた自然環境。山もあり、空気もきれいで諏訪湖もある。特に、冷たくておいしい水が自慢です。



今日は僕たちが、こっちに座って議員さんに質問するよ。



最後に全員で記念撮影

特集 決算認定「平成30年度の市の活動成果をチェック」

【企業会計】
●委員長：早出一真
【総括コメント】
8名の委員により、様々な意見をいただく中で、健全財政が維持されているのか厳しく審査できた。出された意見を次の予算編成の参考に、岡谷市の更なる発展につなげたい。



【問】有収率が8ポイント下がった理由は？
【答】平成30年度に、補償水の給水管で大口の漏水が発見されたことから、補償水量と漏水量の把握を行い、適切な施設構築を実施するため、配水量から補償水の控除を止めたことによるものである。補償水は100件弱ほどあり、漏水対策を強化しないと無駄な投資になりかねないことから、配水量の見直しを行った。

【問】補償水とは？
【答】旧村時代からの各地の水道事業との合併等の要件により引き続き無償で給水しているもののほか、昭和40年代にかけて高度経済成長期に水道を増やすため、深井戸

【問】新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業補助金
【答】市内中小企業等の、新技術の研究開発や新製品の開発に要する経費に対して補助を行い、新技術や新製品等の創出につながった。

【問】道路維持費について
【答】各区からの土木要望の対応状況について、要望数150件のうち、土木課分は新設改良と維持修繕を合わせて102件であり、その内、合計35件について対応を行った。

今後、施設の適正な維持管理を行うための個別施設計画の策定に合わせた十分な議論と慎重な検討が必要であると考えている。

【一般会計・特別会計】
●委員長：遠藤真弓
【総括コメント】
活発な委員会運営のために以下の2点を心掛けました。「各委員分野を活かし審査を深めてもらう」「事業が真に必要な人に届いているのかを質す」。委員会でまとめた要望の他、各委員からは重く受けとめて欲しいです。



【企業会計】 私は、ここに着目して審査した！

●浜 幸平	●今井康善	●中島秀明	●今井義信	●田村みどり	●早出すみ子	●今井秀実
少子化・高齢化を見据えた(決算)内容であるか。	病院建設に関わる企業債償還は令和2年～！	持続可能な経営を最終的に注目！	上下水道技術職員の対応と技術伝承。	人間ドック検診施設機能評価認定の効果!!	決算議会は、市民の暮らしの要なり。	市民の命と健康のため病院はがんばっている。

【一般会計・特別会計】 私は、ここに着目して審査した！

●藤森博文	●笠原征三郎	●武井友則	●吉田 浩	●大塚秀樹	●小松 壮	●山崎 仁
行財政改革の成果と新たな財源確保の取り組み。	税金が真に住民のために使われたかどうか。	あるものを代へ持続可能かどうか。	IoT、ICTの導入促進とSNSの活用。	市債が前年比で4.8%減。16基金の残高増加。	費用対効果及び市民サービスの向上について。	公衆便所の必要性和解体工事の現状について。

【問】水質の状況は？
【答】市内14水源の浄水水質検査を行った結果、全ての水源において51項目にわたる検査の基準を満たしている。今後も水質検査結果に変わりがなければ、過去にトリクロロエチレンが検出された5水源に設置されている高度浄水処理設備の廃止も視野にいれた運用を考えている。

【討論(賛成意見)】
水道施設の長寿命化、耐震化、再構築の必要であっても、水道料金引き上げとならない計画化が必要であったと考える。市民生活に二層の負担を強いるものとなっているのは見過ごすことのできない事実であり、本決算の認定には反対する。

【討論(賛成意見)】
水質管理や施設の適正な維持管理のほか、経費削減、収納率の維持向上に努めながら財源を確保し、健全経営を維持され、約1億9,300万円の純利益となったことは、職員の日頃の地道な努力の結果と高く評価する。更なる水道事業の基盤強化と効率的な運営の検討を要望し、本議案に賛成する。

※委員会では賛成多数により、原案のとおり認定されました。

また、市民からの情報提供や職員による道路パトロールで把握した破損などの箇所数は1,068件で、舗装の穴や側溝の破損等については、即日もしくは数日中に対応をしており、概ね8割は直営により維持補修を実施した。

計画的な改修を実施しているが、昭和時代に急速に整備してきた土木構造物等の老朽化が進んでいるため、維持管理や改築、更新のためにも安定した財源や人員を確保することが大きな課題である。

市民生活に直結する生活道路の損傷箇所に対する維持補修の要望に対しては、予算の平準化に努めながら、予防保全的な道路施設の更新や維持修繕を行っている。

【討論(反対意見)】
高齢者福祉の前進がほとんど見られなかったことは大変に残念なことであり、長年、社会の発展に寄与してきた高齢者に対し、もっと優しく寄り添っていく必要がある。

さらに、スマートインターチェンジの整備では、市民の中から湧き上がる要望が見られていないなか、行政主導で進められていることは問題であり、市民要望である身近な道路等の維持補修にさらに応えていくことが必要であることなどから、本決算認定には反対する。

岡谷市下水道事業会計決算認定

【問】危機管理対策・防災対策は？
【答】地震などの大規模災害発生時の応援協定等は、被災した上下水道施設の応急復旧や資機材、物資の調達など、専門的知識を持った事業者と協定を締結しているほか、岡谷市下水道事業協同組合、岡谷建設事業協同組合や、長野県をトップとした県内他市町村との応援協定を整えている。

【討論(賛成意見)】
健全な下水道事業運営に取り組まれた職員の努力を評価する。また、計画的な雨水渠整備により、豪雨時の安全・安心が高まったことは歓迎すべきこと。今後も、耐震化事業など、施設の維持管理を着実に進めるとともに、経営の効率化、自立した健全経営を目指し、二層の経営努力に期待し、本決算の認定に賛成する。

※委員会では全員一致により、原案のとおり認定されました。



企業会計決算審査にあたり上水道管布設工事を現地視察

【討論(賛成意見)】
歳入確保が厳しい中、事業の選択と集中により、限られた財源を効率的に配分し、市民サービスの向上に努めながら、6億6千万円の黒字が確保されたほか、基金の積立も行いうなど、基金に頼らない行財政運営がなされている。

人口減少が進み、大変な時代ではあるが、市民の声をしっかりと聞き、各世代の福祉事業の拡充や、住民主体のコミュニティ作りなどの課題に向き合うなど、さらなる市民サービスの向上に努め、めざす将来都市像の実現に邁進されることを要望し、本決算認定に賛成する。

※委員会では賛成多数により、原案のとおり認定されました。

決算特別委員会(企業会計)

【委員長】早出一真
【副委員長】今井 秀実
【委員】早出すみ子、田村みどり、今井康善、浜 幸平

岡谷市下水道事業会計決算認定

【問】経営状況は？
【答】平成29年の料金改定で水道料金収入が増加したことなどにより、純利益を約1億9千万円計上できた。人

特集 決算認定「平成30年度の市の活動成果をチェック」

○【令和元年第4回臨時会】議案賛否一覧

議案番号	件名	審議結果	渡辺 太郎	藤森 博文	山崎 仁	田村みどり	吉田 浩	中島 秀明	中島 保明	今井 義信	早出すみ子	今井 秀実	武井 友則	今井 康善	早出 一真	小松 壮	大塚 秀樹	笠原征三郎	遠藤 真弓	浜 幸平
報告第 9号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議案第47号	岡谷市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
議案第48号	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○
議案第49号	岡谷市保育所条例等の一部を改正する条例	可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第50号	岡谷市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算(第2号)	可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長：議長職のため採決に加わらず ○：賛成 ×：反対

○【令和元年第5回定例会】賛否が分かれた議案等

議案番号	件名	付託委員会	審議結果	渡辺 太郎	藤森 博文	山崎 仁	田村みどり	吉田 浩	中島 秀明	中島 保明	今井 義信	早出すみ子	今井 秀実	武井 友則	今井 康善	早出 一真	小松 壮	大塚 秀樹	笠原征三郎	遠藤 真弓	浜 幸平
議案第52号	平成30年度岡谷市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第53号	平成30年度岡谷市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第58号	平成30年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第60号	平成30年度岡谷市水道事業会計の決算認定について	決算特別	認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第71号	日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書	(総)	趣旨採択	議長	趣	趣	趣	○	○	趣	趣	○	○	○	○	○	趣	趣	○	○	趣

議長：議長職のため採決に加わらず ○：賛成 ×：反対

○【第5回定例会】全会一致により可決等された議案等

議案番号	件名
議案第54号	平成30年度岡谷市地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第55号	平成30年度岡谷市分収造林事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第56号	平成30年度岡谷市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第57号	平成30年度岡谷市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第59号	平成30年度岡谷市湊財産区一般会計歳入歳出決算認定について
議案第61号	平成30年度岡谷市下水道事業会計の決算認定について
議案第62号	平成30年度岡谷市病院事業会計の決算認定について
議案第63号	岡谷市教育委員会委員の選任について
議案第64号	岡谷市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例
議案第65号	工事請負契約について
議案第66号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算(第3号)
議案第67号	私立高校への公費助成に関する意見書
議案第68号	私立高校への公費助成に関する意見書
議案第69号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書
議案第70号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書
議案第72号	県道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書

★おかや市議会の議会報告会です。

夢と希望がもてる岡谷市を考える

～議員とわいわい語ろう、おかやの未来～

●日 時：令和2年1月24日(金) 2回(昼・夜)

●場 所：イルフプラザ3F (カルチャーセンター)

●テーマ：「夢と希望がもてるまちづくり」

どなたでも参加OK!

昼の部：午後2時～午後4時

どんなまちにしよう！
その前に、何でも言って！
岡谷の未来をどうするの？

夜の部：午後7時～午後8時半

通院や買い物などの移動に
困らないようにしてほしい！

災害時、どこにどうやって
避難したらいいの！

図書館や公園など、公共施設が
充実したまちがいいね！

子育ての悩みは、どこへ
相談したらいいの？
いじめや不登校が心配！

空き家が多い！
歩きにくい道！

仕事で休みが
とれないヨ！

健康で
長生きしたい！

生活が苦しい！
年金がもらえるか不安だよ！
仕事をしながら
親の介護ができるかな！

子育ての悩みは、どこへ
相談したらいいの？
いじめや不登校が心配！

健康で
長生きしたい！

などなど…

■主催：岡谷市議会 ■問合せ先：議会事務局 ☎23-4811 (内線1711・1712)



園児のかけっこ (成田保育園)



企業会計決算審査にあたり
下水道改築工事を現地視察

問 「外来ブロック業務委託」の効果は？

答 1、2階の各外来ブロックの受付業務を、臨時職員から専門業者へ委託したものであり、受付や電子カルテ入力、窓口対応を主に行っている。委託により経費は増えたが、患者サービスの上や看護師が本来の業務に専念できるなどの効果があった。

問 「外来ブロック業務委託」の効果は？

答 皮膚科の常任医師が平成30年8月に退職したこと、泌尿器科医師の休職に伴い平成30年4月から「体外衝撃波結石破砕術」を休止したことによるものである。

問 外来患者数減の要因は？

答 病院の更なる周知（ブランド化）に取り組み、医師の地域偏在や安定的な病院運営など全国的な課題がある中、経常収支で8年連続の黒字を確保できた。

問 経営状況は？

岡谷市病院事業会計の決算認定



●監査委員からのコメント
監査委員に求められる「公正不偏の態度」について考えながら4日間の決算特別委員会に出席させていただきました。(中島保明)



●議長からのコメント
多様化する市民ニーズを踏まえ、市の発展と市民福祉の向上に資する建設的な審査を期待し、4日間に渡る決算特別委員会に出席いたしました。(渡辺太郎)

※委員会では全会一致により、原案のとおり認定されました。

◆討論【賛成意見】
経常収支で約1,636万円を計上するとともに、8年連続の黒字を達成したことは、天野病院事業管理者を中心とした職員の皆さんの日々の奮闘の賜物であり、心から敬意を表したい。また、外来ブロック受付業務等外部委託による患者サービスの向上や医師増員による地域医療の充実があった二方、依然として人材確保や待ち時間の改善等の課題もある。医療と福祉の拠点である自治体病院として、良質な医療を提供し、さらに地域から信頼され愛される病院を目指して引き続きのご努力をお願いし、本決算の認定に賛成する。

答 幼児教育・保育の無償化は、令和元年10月から実施される消費税率の引き上げを財源として行われるもの

問 幼児教育・保育の無償化が市の財政状況に与える影響は？

社会委員会での委員からの主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

※本会議での質疑の後、社会委員会に審査を付託しました。

今回の改正は、幼児教育の機会を保障するとともに、子育て世帯の経済的な負担軽減を図る少子化対策のひとつとして、令和元年10月1日から開始される幼児教育・保育の無償化に伴い、子ども子育て支援法及び関係する政令などの一部改正が行われたことから、これに対応するため、市においても関係する条例の一部改正を行うものである。

◆本会議での提案説明(議案の内容)

◆議案第49号
岡谷市保育所条例等の一部を改正する条例

◆討論【反対意見】
幼児教育・保育の無償化は、消費税率10%への引き上げと抱き合わせて行われる点が、一番の問題である。消費税は、所得の低い世帯ほど重い税負担を強いられる性質のものである。逆進性の非常に強い消費税を財源に求める条例改正は真の子育て支援になり得ないため、本議案には反対する。

◆討論【賛成意見】
国の法改正に伴う条例改正に加え、市独自の支援施策として、第2子、第3子以降の副食費減免も盛り込まれているため、多くの子育て世代への支援であり、子育て環境の向上や輝く子どもの育成につながるため、本議案に賛成する。

◆討論【賛成意見】
国の法改正に伴う条例改正に加え、市独自の支援施策として、第2子、第3子以降の副食費減免も盛り込まれているため、多くの子育て世代への支援であり、子育て環境の向上や輝く子どもの育成につながるため、本議案に賛成する。

◆討論【賛成意見】
国の法改正に伴う条例改正に加え、市独自の支援施策として、第2子、第3子以降の副食費減免も盛り込まれているため、多くの子育て世代への支援であり、子育て環境の向上や輝く子どもの育成につながるため、本議案に賛成する。

◆討論【賛成意見】
国の法改正に伴う条例改正に加え、市独自の支援施策として、第2子、第3子以降の副食費減免も盛り込まれているため、多くの子育て世代への支援であり、子育て環境の向上や輝く子どもの育成につながるため、本議案に賛成する。

令和元年 第4回臨時会(9月)

主な議案の審議経過

令和元年第4回臨時会が、9月25日(水)に開催され、報告案件1件、条例議案4件、補正予算1件の、計6議案が審議されました。

である。国の政策として行われるものであり、市町村の負担とならないよう、国において財源を措置するとの方向性が示されているため、市の財政運営上、影響は生じないと考えている。今後も、市の財政状況に影響が及ばないよう、市長会等を通じて国に対して要求をしていきたいと考えている。

◆討論【賛成意見】
幼児教育・保育の無償化は、消費税率10%への引き上げと抱き合わせて行われる点が、一番の問題である。消費税は、所得の低い世帯ほど重い税負担を強いられる性質のものである。逆進性の非常に強い消費税を財源に求める条例改正は真の子育て支援になり得ないため、本議案には反対する。

◆討論【賛成意見】
国の法改正に伴う条例改正に加え、市独自の支援施策として、第2子、第3子以降の副食費減免も盛り込まれているため、多くの子育て世代への支援であり、子育て環境の向上や輝く子どもの育成につながるため、本議案に賛成する。

Q 産業と岡谷ブランドを先頭に掲げた思いは？
A 「岡谷市を、すべての人達に活躍の場と生きがいがあり、そして産業に活力がある、たくましいまちにした



大塚 秀樹

Q 市長四期目の市政運営への意気込み
A 初心にかえって一生懸命やる

Q 若い世代が住み続けたいと思える魅力あるまちとは？
A 少子高齢化、人口減少が進む状況下にあつて、若い世代、子育て世代の安住が大変重要。産前産後の母親支援の充実、仕事をしながら子育てが

できる環境づくり、子どもが安心して遊べる場所の整備に注力し、住み続けたい、住んでみたい魅力ある街づくりをしたい。
Q 将来にわたって持続可能なまちとなる福祉施策は？
A 若者も高齢者も障がいや難病のある方もない方もすべての市民が、生きがいと幸せを実現するために、生活習慣病の予防、健康診断の検診率向上に努め、疾病の早期発見、早期治療で健康寿命の延伸を図りたい。また在宅医療と介護連携の推進、予防の充実、認知症施策の推進、地域包括ケアシステムの充実に努め共生社会の実現のため、障がい者の社会参



母と子

Q 街路樹の管理について、アダプト的な方法で整備をしているケースはあるか？
A 横川区の東町線においてモミジの剪定等を行っていただいていいる。ま



武井 友則

Q 市内街路樹管理の今後の考えは
A 持続的に維持管理できる樹種の選定が必要

た市内各線でも地元区の皆さんに清掃活動や植樹帯の除草をしていただいており、ありがたく思っている。
Q 作業していただいている方からの意見等は？
A 率先して参加しているが、高齢者が増え、今後は同様な作業をしていくことは難しくなるとの意見がある。
★要望：樹種転換により樹木のコンパクト化を行い、管理コストを減らす努力を。
Q 子育て支援アプリ「げんきっずおかや」運用開始後の評価は？
A 運用開始から約4か月経過し、420名の方にダウンロードいただき



出早公園の
見事なモミジ

573名の子どもが登録されている。子育て家庭への情報発信の充実につながっていると評価している。

Q きめ細やかな子育て支援サービスについて、市民からの要望の吸い上げ状況は？
A 家庭訪問や健診、こどものくに、子育て支援センターなど様々な機会や場面、またこれから子育てをする方々などへもアンケート調査を行い、意見・要望の把握に努めている。
★要望：以前のアンケート調査では、子育てをするうえで悩みや不安として、病気や発育のこと、経済的負担が大きいとの回答が多かった。ニーズを把握したうえで、このような悩みや不安を解消できるような施策展開を要望する。

Q 岡谷ブランドブックアクションプランの進捗状況は？
A 5つのアクションプランの具現化に向け28件の事業を掲げているが、これまでに13件の事業を実施している。



今井 康善

Q 地域資源の集約と地域ブランドの確立を
A 協議会と官民共同で構築を

Q ターゲットと取り組みの内容は？
A 首都圏、中京圏の20～30代女性、子どもを持つファミリー層、アクティブシニア層がターゲット。レンタルサイクル、シルク商品パッケージ、武井武雄コラボ商品、パンフレット等の作成など官民一体となりブランドプロモーション協議会で検証している。
★要望：7年経過した「諏訪の国」の広域的視点を踏まえた見直しを。
Q 岡谷ブランド発信の組織体制は？
A 岡谷市観光協会と市担当職員が情報交換や連携を図り効果的かつ柔軟に発信していく。
★要望：全体のマネジメントを統括できるブランドマネージャーが必要。



岡谷ブランドロゴ
※市内企業の各種商品
約20件程度に利用

Q 市の行政サービスでの対応は？
A 12月中を目途に、市役所売店でもオカヤペイが利用できる準備を進めている。行政サービスでも利用できる環境整備の検討が必要と考えている。
Q 施設利用、健康ポイント付与等ポイントの活用については？

Q 国が推進する自治体「ウォーカーブル推進都市」へ参加する考えは？
A 7月から募集が始まり、9月30日で180都市が参加。今後状況等を注視していく。
★要望：街中の空間形成、仕組み等に関する支援がある。国や先進地域の取り組み等情報収集や研究を。
「居心地がよく歩きたくなるまちなか」づくり

ズバリ！ 市政を問う！ 一般質問

令和元年
第5回定例会(10月)
議場の再現

(ダイジェスト版)



Q …議員の問い A …市からの答え

※岡谷市ホームページから、一般質問の詳細や録画映像の動画を見ることができます。パソコン、スマートフォンからいつでもご覧いただけます。



●一般質問とは…
議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来の方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めるなど、質問をすることです。年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

目次

掲載は質問順です。

※掲載内容は質問者の文責によるものです。

●一般質問の順位は、定例会招集日の開会前(3月定例会を除く)に、くじで決めます。

1. 今井 康善 ……8ページ
2. 武井 友則 ……9ページ
3. 大塚 秀樹 ……9ページ
4. 吉田 浩 ……10ページ
5. 山崎 仁 ……10ページ
6. 今井 義信 ……11ページ
7. 早出すみ子 ……11ページ
8. 浜 幸平 ……12ページ
9. 中島 秀明 ……12ページ
10. 早出 一真 ……13ページ
11. 田村みどり ……13ページ
12. 笠原征三郎 ……14ページ
13. 今井 秀実 ……14ページ
14. 遠藤 真弓 ……15ページ
15. 小松 壮 ……15ページ

Q 学校給食の衛生管理状況は？



吉田 浩

A マニュアルに基づいて管理

Q 検収には調理員が立ち会っているのか、食品の置き去りや業者の給食室への立ち入りはないか？

A 「岡谷市学校給食衛生管理マニ

アル」において、検収は調理員の立ち会いのもとで確認すること、検収簿への記録、温度管理の確認などを定めており、それに基づいて各学校で検収をしている。その他、納品された食材は適した容器に移し替えたり、夏の配送時は、食材の温度が上がらないように保冷材等に対応しており業者が給食室に入ることはない。

Q SNSの活用は？

Q 岡谷ブランドや観光情報の発信にSNSをどう活用していくか？

A 岡谷蚕糸博物館、イルフ童画館、おかやブランドプロモーション協議会、岡谷市観光協会がフェイスブックやインスタグラムを独自で活用し、それぞれ一定のフォロワーを得ている。今後は新たなSNS活用も含めた効果的でタイムリーな発信に努めるとともにSNSを活用している関係部署で連携し情報をお互いにシェアし新たなフォロワーの獲得に努めていきたいと考える。



学校給食の例(湊小)

Q 災害時のSNS活用は？

A 災害時に住民に向けた情報提供の手段の一つとして、土砂災害警戒情報や大雨に関する情報等を市の公式のフェイスブックで発信をしている。

Q 内山霊園の現状と問題点と今後の整備事業

A 合葬式墓地が人気。残数少



山崎 仁

Q 霊園の管理運営上での課題や苦慮していることなどあるのか？

A 「お墓を引き継ぐ」承継は、古くから配偶者やその家の長男が引き継ぐ事が一般的だったが、子どもが遠方に住

んでいたり、一人娘が嫁いでしまったり、子どもがいらない場合など、家族内で承継する事が困難となり、苦慮する事例が増えている。こうした状況の中、お墓を管理できない方、管理料金未納や、連絡が取れない方などもあり、管理運営する上での課題である。

Q 今後、個々の墓石を持たない人々が増加すると思われるが、新たに合葬式墓地の増設などの計画があるのか？

A 合葬式墓地は、個々の管理が必要なく、お墓の承継に不安の方でも安心して使われている。お墓を取り巻く環境や意識も変化し、個別埋葬、共同埋葬とも残数が少なく、令和2年度の募集は抽選となる見込み。今後

市内児童遊園施設の状況

Q 現在の市内児童遊園施設の数と使用状況は？

A 市が管理する児童遊園が5か所、各区が管理する児童遊園が67か所。各区が管理する児童遊園については、数多く点在し詳細までは把握できないが、各区や近隣の方々により適切な維持管理がされており、子ども達の安全な遊び場の提供に努めていただいている。



児童遊園

Q 遊具の整備、補修の経費は？

A 10年ほど前に国の安心子ども基金を活用し、一斉点検を行い整備が必要となった遊具は、撤去又は新しい遊具に更新した。

Q 藤岡産業振興部長の岡谷市への思いは？

A 各分野で大きなポテンシャル



今井 義信

Q 岡谷市の産業振興の進め方は？

A 経済産業省からの派遣というところで、国との橋渡し役として、岡谷市と国との連携強化も重要な職責であると、認識している。

Q 岡谷市工業活性化計画の進捗状況は？

A 4つの基本戦略とともに、2023年度の粗付加価値額、950億円を目指して行きたい。

Q 工業用地確保の取組みは？

A 事業の目的、現在の取り組み状況や、今後についても、情報収集をして行く。

シルク岡谷の承継について

Q 製系にかかわる資料の収集は？

A 市民からの寄贈の問合せが年に数十回あり、真摯に対応している。

Q 耐震化に踏みきれない公会所

A 7か所



早出 すみ子

Q 耐震化が進まない原因は？

A 規模によって多額の費用が必要で、区や区民の負担が大きくなる。

Q 防災上の公会所の役割は？

A 公共的な利用者が多いことから、区の了解を得て避難所に指定している。

Q 耐震改修促進計画での公会所の位置付けは？

A 3階以上、床面積千平方メートル以上の公会所が耐震改修の努力義務対象。※7か所は該当しない。

Q 補助制度は？

A 耐震工事は、補助率3分の2以内、600万円。

Q 耐震改修の総費用は？

A 2つの公会所は概ね2500万円、1つの公会所は15万円。

Q 岡谷ブランドや観光情報の発信にSNSをどう活用していくか？

A 岡谷蚕糸博物館、イルフ童画館、おかやブランドプロモーション協議会、岡谷市観光協会がフェイスブックやインスタグラムを独自で活用し、それぞれ一定のフォロワーを得ている。今後は新たなSNS活用も含めた効果的でタイムリーな発信に努めるとともにSNSを活用している関係部署で連携し情報をお互いにシェアし新たなフォロワーの獲得に努めていきたいと考える。

Q 地域おこし協力隊員の活動状況や隊員の様子は？



丸山タンク(大正3年築)
(シルク岡谷)近代化産業遺産

A シルクのブランド化に向けた「養蚕振興」「ブランド化」が、2人の隊員の現在の取り組み状況で、岡谷市に魅力ある資産があると感じている。

Q 信州シルクロード連携協議会の活動状況は？

A 東京スカイツリーや軽井沢ショッピングプラザ等多くの観光客

Q 7つの公会所の倒壊率は？

A 4棟が40%以上。

Q 補助制度を見直し、各区の実状に沿った強力な対応策の提言は？

A 各区の力で実施した部分があり、バランスを考えて検討する。

聞こえのバリア

Q 加齢性難聴者の実態は？

A 障害者手帳を所持していない難聴者の実態は把握できない。

Q 加齢性難聴とは？

A 年齢と共に聴力が低下する状態で両耳同時に現れる。根本的な治療



Q 独自制度を設ける自治体があるが補聴器購入の補助制度の新設への考えは？
A 国、県の動向を見ながら考えたい。※補聴器の更なる普及で高齢者の生活の質を落とさないよう、政治社会のサポーターが必要で。

がある場所でPRイベントを実施し、活動を重ねてきた。

学校教育の対応

Q 小中学校におけるICT活用の現状は？

A 小中学校で様々な場面において、ICTが活用され、また、タブレットや無線LANの導入など、今年度はICT教育環境の充実に取り組んでいる。

Q 小中学校の理科実験の現状は？

A 外部人材を活用した授業支援や、わくわく科学教室や教職員を対象とした、理数教育の指導力向上に向けた、研修会の実施などに取り組んでいる。

は困難で補聴器使用で効果がある場合とない場合がある。引きこもり、認知症等に繋がることが考えられる。

Q 6 大事業の施設連携の効果をどう広げるか

A 幅広く効果を波及させる



浜 幸平

Q ララオカや廃止方針に至る経過と今後の展開は？

A 本年5月の組合定期総会で「市が権利を取得して、令和3年に施設廃止、解体をする方針案」を提示。今

後は不動産関係などの調査業務着手へ、権利者や関係者に対する説明会を開く予定。業務期間は半年程度を見込む。今後個別相談会など細かな対応と配慮をしたい。

Q 持続可能な行財政運営で収支バランスをどのように取っていくか？

A 不断の行財政改革に取り組み、持続可能な行財政運営の確立に努める。重点改革項目に基づき実施計画を推進していく。

Q 老朽化する公共施設の維持・更新が課題。どのように取り組むか？

A 市民参画を得ながら統合・民間移譲・廃止など、資産総量の適正化と機

能的な施設配置を進めたい。

Q マイナンバーカードの普及は？

A 交付率は7月時点で全国13・5%、8月末時点で県11・2%、本市は12・1%で交付枚数は6,272枚。県内で4番目に高い。本年3月よりコンビニ交付サービス実施中。



マイナンバーカード(個人番号カード)

居住環境の充実について

Q 平屋6市営住宅の現状と耐震診断は？

A 6団地で合計管理戸数115戸、入居70戸で入居率60・8%。耐震診断は平成21年と22年に実施。高尾、中村団地が指標をやや下回ったが平屋で安全値に近いこと、筋交いが入っているなど総合的に判断し、問題はない。

Q 空き家対策としての移住・定住促進策について

A 「空き家バンク」では平成28年度3件の成約、29年度4件、今年度は5件と増加傾向。定住物件は、9月に一件成約している。

諏訪湖周サイクリングロード

Q 『諏訪湖周サイクリングロード整備事業』の進捗状況は？

A 今年3月に、岡谷市、諏訪市、下諏訪町で策定し、交通環境の改善、健康・スポーツ・環境の充実、観光振興、安全安心の実現を目標に自転車活用の推進を目的としている。

現在、諏訪市豊田の県道約800mが完成している。岡谷市では、下諏訪境から釜口水門までの区間の内340mの整備が完了しており、5年以内の完成に向けて順調に進んでいるが、今後、検討会議等で課題や問題点等の整理をしていく。



中島 秀明

Q 各区に設置されている地域サポートセンターの目的と現状は？

A 全ての市民が年代を超えて、相互に支え合って暮らす中で地域の問題を解決する目的で設置されており、

Q 「地域サポートセンター」の役割と取組

A 役割を明確化し取組を推進

Q 地域サポートセンターの今後の役割とそのための取組や支援は？

A 運営費や事業費として設立時から3年間は月1万円、その後は月5千円の補助や地区公会所施設のバリアフリー化の改修費補助他、市社会福祉協議会からは地域サポートセンターで行う活動に関する経費の一部補助がある。

昨年4月からは、区長、地区社会福祉協議会長等による岡谷市地域福祉ネットワーク会議を設置して各地区の運営方法や課題を共有するとともに



西堀区 ラムラム広場

Q 人口減少、少子高齢化に対する対応は？

A 第5次岡谷市総合計画の着実な推進



早出 一真

Q 人口減少、少子高齢化に対する具体的な方策として必要なことは？

A 人口減少、少子高齢化という課題に柔軟かつ適切に対応し、乗り越え、

Q 合併について、現時点での市長の考えは？

A 市町村合併はスケールメリットなどを活かして、活力や魅力のある、より良いまちを作ることが目的である。そして、住民や市町村間の理解の深まり、また、民意の高まり、さらに、合併の機運が醸成されることが

将来にわたって持続可能な岡谷市を築いていくため、産業集積をより一層の維持・発展させ、すべての市民が活躍することができるとまじづく。また、第5次岡谷市総合計画に掲げる将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐたくましいまち岡谷」の実現に向け、各種施策に取り組んでいく。

障がい者就労支援の状況は？

何よりも必要である。

Q 市内の障がい者就労施設が受注している物品等の調達や取り組み状況は？

A 障がい者優先調達法により、優先的に「物品の調達」や「役務の提供」の発注拡大に努めている。

Q 障がい者就労施設が受注先を増やすための取り組みは？

A 市内のみならず市外の様々な企業を、実績を問わず訪問し開拓に努めている。また、直接顧客へのPRや展示、販売会に積極的に出店し、売り上げ増加に努めている。



「障がい者週間」における、障がい者就労施設の物品販売会

Q 諏訪湖スマートーC 開通時期は？

A 開通時期目標は令和5年度



田村 みどり

Q 諏訪湖スマートーCの事業認可の経緯、取り組む市の姿勢は？

A 平成27年に準備段階調査個所に採択され、関係機関や地元との協議、検討を重ね、令和元年8月に地区協議

Q 最近の事業の急進展に伴う地元への対応は？

A 早期の開通を目指し、地元の区、委員会とも頻繁に打ち合わせを行い、地元の皆様には、丁寧な説明、対応を行う。

★要望：今後も、地元ファーストの対応をお願いしたい。

Q 岡谷蚕糸博物館の正面玄関前の芝生広場の有効活用を

A 一般の方々に蚕糸博物館の芝生広場を開放し飲食や喫茶などに活用していただくためには、市民のニーズや民間事業者のニーズを把握するとともに、博物館の入館者の意向調査や衛生管理の体制整備、芝生広場の貸し出しルール等を含めた検討が必要となる。今後も知的好奇心を満たす施設として芝生広場の活用等を含め、ハード・ソフト両面から様々な取り組みを進めていく。



Q 令和2年度スタートの会計年度任用職員制度とは？

A 行政ニーズの多様化や行財政改革の推進に伴い、地方公務員における非常勤職員が増加し、地方行政の重要な担い手になっている。従来の非常勤職員制度は、任用等について不明確な点が多い。会計年度任用職員制度を新たに創設して、統一的な取り扱いを定め、地方公共団体における非常勤職員制度の適切な運用をするものである。公務運営の適正な確保の観点から、一般職に適用される地方公務員法の各規定が適用され、任用を含めた雇用全般にわたる改正が行われる。

Q 全世代型社会保障改革の評価は

A 一定の評価をしている



笠原 征三郎

Q 全世代型社会保障改革の中で高齢者の医療と介護の面での受止めと評価は？

A 社会保障制度の持続可能性を高めるための改革という点では評価を

している。

Q 全世代型社会保障改革を受けて、高齢者の医療介護に対する岡谷市独自の施策は？

A (医療) 少子高齢化や人口減少によっての税収の減少など踏まえると、岡谷市独自で高齢者に対し、一律の支援は難しい。



A (介護) 国の検討経過を注視しながら、高齢者の要望などを把握し、各種施策の検討・展開に取り組んでいる。

学校給食無償化の実現を

Q 学校給食の無償化は子育て世代への大きな支援になるが岡谷市の考え方は？

A 給食費の徴収は、学校給食法等の趣旨に基づき徴収している。よって、給食費の無償化は考えていない。なお、就学援助費として、平成31年度から給食費については、8割から9割に拡大している。

立木の伐採・除去を進めるべきだ。

A 今年度は成田保育園前の立木伐採が予定されている。各区からの要望もあり、立木の伐採を進めるよう今後も県に要望していく。

Q 塚間川の溢水対策の現状は？

A 塚間川の溢水対策の一環として進められている雨水渠の整備は、市役所横から今井新道の蚕糸博物館交差点までの整備が完了した。令和2年度から5年度までの4か年で、諏訪信用金庫横から県道榑川・岡谷線の山下町二丁目交差点までの整備を進める予定である。



「忘れじ豪雨災害」
平成18年7月豪雨災害の記録／岡谷市

Q 大川の溢水対策として調節池を増やすべきだ。予定は？

A 大川の調節池は満水近くになったこともある。長野自動車道上の岡工第二グラウンド付近にあと2か所、調節池を増やす計画となっている。県へ要望していく。

県道下諏訪辰野線の拡幅を早く

Q 川岸小から観蜚橋の事業化に地元の意見や要望をどの様に生かしていくか？

A 現在の工事が完成したら、継続的に事業に入れるよう、県とのパイプ役として地元対応にあたり、新倉区との合意形成につなげる。

Q 観蜚橋から駒沢地域へ向けての拡幅計画は？

A 今のままでは「日常的に危険を感じている」などの地元の切実な声を県に伝え、一日も早い事業化を目指していきたい。

Q 全世代型社会保障改革の評価は

A 一定の評価をしている



笠原 征三郎

Q 全世代型社会保障改革の中で高齢者の医療と介護の面での受止めと評価は？

A 社会保障制度の持続可能性を高めるための改革という点では評価を

Q 公共施設の停電への備えは大丈夫か？

A 3日間は大丈夫である



今井 秀実

Q 台風15号に伴う強風で、千葉県では、大規模停電が何日も続き、大変だった。停電への備えについて、現状をどう捉えているか。非常用電源装置の現状は、どうか？

Q 河川が氾濫、洪水となったときの被害の深刻さは、今回の台風19号の被害でよく分かる。天竜川の河川敷の

Q 停電対策として、電線に触れるような立木の枝の伐採を促進すべき。

A 市が管理している立木の枝の伐採はパトリール等を通じ適正に行っている。

Q 地域包括支援センターの増設必要では？

A 今は、増設の考えはなし



遠藤 真弓

Q 設置目安は人口2万人〜3万人に1か所だが、人員体制や必要な改善措置の必要は？

A 現在の体制で、今のところ支障はない。今後も柔軟に対していく。

Q 介護離職防止という視点からの家庭介護者支援策、必要では？

A 離職防止に向けた直接的な事業の実施はないが、国の方針も踏まえ、家庭介護者等の気持ちに寄り添った施策等を検討する。

Q 地域包括支援センターの認知度を上げるために、「みま〜も」という高齢者見守りネットワークの仕掛け人・大田区地域包括支援センター入新井センター長・澤登さんの講演会を開催してほしい。

A 「みま〜も」のことは承知している。講演会については検討をしていく。

林業の可能性は？

Q 林業での雇用拡大の見通しは？

A 近年、林業界においては、機械化の進展、苗の改良、効率的な施業への移行変革期にあり、林業に携わる若者や女性も多くなってきたと感じている。県内林業就業者や林業事業体は近年減少傾向だが一方で就業者の年代別割合は若返りが進んでいる。

Q 若者を取り込むための支援は？

A 「林業就労支援事業」のほか、テクノプラザおかやで林業に関心を持つ人や現場で働きたいと考える人を対象に共同就職説明会を開催している。

Q 患者第一の考え方は？

A 来院した患者さんについては、原則お断りすることなく、一人ひとりに対して丁寧な診察を心がけている。待ち時間の解消についても携帯電話での呼び出しや待合室のデジタルサイネージにニュースを流すなど工夫をしております。

Q うなぎのまち岡谷の現状は？

A 定着しており全国から多くの方々が岡谷のうなぎを食べに訪れている。



うなぎの蒲焼き

Q 釜口水門周辺の渋滞緩和策は？

A 道路管理者である長野県とも協議を行い、一日も早く渋滞が解消されるよう努めてまいりたいと考えております。



会派行政視察先の
釜石森林組合の地産地消
「キーホルダー事業」

Q 地元の間伐材が大切な資源と理解するためにも地産地消の仕組みづくりが必要では？

A 森林整備により得られた地元の資源を有効活用していくことは非常に重要。地産地消は地域活性化につながるが、現在岡谷市のおかれている林業形態や経済循環の仕組みの中で実施していくとなると難しい課題である。

議会の フォト広場

飛び出せ議員!!

突ゲキ生レポート!

【11月9日:収穫祭】

岡谷市収穫祭がラオカヤで開催されました。ご来場の市民の皆様から、ご意見を頂きました。

- ①市議会議員に対するイメージは?
- ②議員へ望むことは?
- ③岡谷市のイメージは?

- ①地域のために頑張っている。身近には感じにくい。
- ②議員の話を聞ける機会が欲しい。
- ③とても住みやすい。災害が少なく、雨戸がない。
・小口千代さん ・小松亜希子さん



- ①何をしているかよく分からない。農業関係に力を入れて欲しい。
- ②人が優しい。道を譲ってくれる。
- ③若い人が集まる場所がない。
・生産者 和田佳浩さん



- ①身近な人。
- ②より一層の農業の活性化を!
- ③農業でも食べて行けるように! 農地が少ない。
・生産者 山田千秋さん



- ①一生懸命やっている。
- ②母子家庭や幼い子の家庭に支援を! 6市町村の問題を挙げて横の連携を強めて欲しい。
- ③各種ものづくりの盛んなまち。県内外からスケートが評判のまち。
・横内健治さん



【姉妹都市からの出店コメント】

姉妹都市の東伊豆町から、珍しいみかん「ゆら早生」400kg、鰯やキンメダイの干物、採りたての生山葵などを、生産者と一緒に運んできました。岡谷市のみなさん、東伊豆町のおいしいものたくさん食べてくださいね。

・東伊豆町農林水産課 課長 鈴木伸和さん



編集後記

前号から始まりました、「飛び出せ議員突ゲキ生レポート」の取材に outcome、市議会議員のイメージを市民の皆様にお聞きいたしますと、議員は、何をしているかわからないという、声が多く返ってきます。そこで、議会広報広聴委員会では、18名の議員の議会の発言や日々の活動をはじめ、一人ひとりの人物像を理解していただけるように、この「議会のひろば」を作成しています。

市民の皆様が、手に取って、興味を持って読んでもらえる市議会だよりを目指して、しっかり発信していきますので、これからも、よろしく願います。

(田村みどり)



議会広報広聴委員会

- 委員長 藤森 博文
- 副委員長 田村みどり
- 委員 員/吉田 浩
- 委員 員/早出すみ子
- 委員 員/小松 壮

○次号(第18号)の発行は、令和2年1月25日の予定です。

